

川でむすぶ

行事案内

- 案内1：夏井川沿いサイクリング
- 案内2：平成27年度総会の開催
- 案内3：夏井川流域一斉水質調査
- 案内4：河口部右岸親水空間の草刈り作業
- 案内5：水辺の観察会（好間川）

報告事項

- 報告1：本会の事業内容紹介
- 報告2：川前地区夏井川清掃作業
- 報告3：喜多方視察旅行

< 行事案内1 > 夏井川沿いサイクリング

これまで秋に実施しておりました「夏井川沿いサイクリング」を、今年は、新緑の空気を胸一杯に受けながら、夏井川を楽しみたいと思います。会員は勿論、身近な人達にも参加を呼びかけて下さい。実施要領は下記の通りです。

○ 日時：平成27年4月26日（日）9：30 ～ 14：00

○ 集合場所：いわき市役所 駐車場（玄関前）

○ スケジュール（予定）

9：30 いわき市役所集合

10：00 市役所裏の新川出発

- 新川沿いのサイクリング。
- 北白土ポンプ場視察（予定）
- 夏井川右岸堤防のサイクリング。
- 河口右岸親水公園折り返し。

12：00 頃、鎌田親水公園着【昼食・小イベント等】

14：00 頃、鎌田親水公園にて解散

○ 参加費は、**無料**です。自転車は原則として各自ご用意下さい。

※ 自転車をお持ちでない方は、事前に事務局にご相談下さい。

○ 昼食・飲み物は、各自ご用意下さい。

○ お子様の参加の場合は必ず保護者も同伴して下さい。

○ 保険加入は本会で行いますが、安全対策・寒さ対策には十分留意して下さい。

○ 参加を希望される方は **4月22日まで**に事務局へお申し込み下さい。

参加申込・問い合わせ：本会事務局（永井 精：TEL. 88-7338、阿部 孝男：TEL. 23-8372）



< 行事案内2> 平成27年度 総会

当会は発足以来16年目を迎えることになりました。これまでの会員はじめご支援を戴いた皆様に深く感謝申し上げます。当会としましては、新たな事業にも取り組みつつ所期の目的に向かって邁進して参りたいと思っております。本年度の総会は、下記の日程で実施する予定であり、総会後は、塘忠顕先生をお迎えし、「水生生物と調査方法」について、ご講義と実習も予定しております。多くの方々の参加をお待ちしております。

< 総会 >

○日時：平成27年5月10日（日） 午前11時 ～

総会終了後、昼食

○場所：小川公民館



< 講演と実習 >

○時間：13:00 ～ 16:00 頃

○内容

講義（約45分） → 実習（水生生物の採集、小川公民館前の夏井川） → 「まとめ」

講師：塘忠顕先生（福島大学共生システム理工学研究科教授）

○連絡事項

- ・ 午後の「講義と実習」にだけ参加希望の方、器材の準備の都合もありますので、5月1日（金）までに、「氏名・住所・電話番号」を下記担当までご連絡下さい。

（担当者）橋本：〒970-8003 いわき市平下平窪字鍛冶内 53-14

電話&FAX：0246-22-2621、 E-Mail：khashi0823@hotmail.co.jp

→ ご連絡頂いた方には、別途、詳細をお知らせします。



< 行事案内3 > 夏井川流域一斉水質調査

夏井川流域の会主催、当会共催の一斉水質調査を下記の要領で行います。この機会に夏井川に触れてみませんか。多くの方々のご参加をお待ちしております。

2015 夏井川流域一斉水質調査 参加者募集！ みんなで川の水質を調べよう！

実施日

平成27年6月14日(日)午前10時 一斉に水を採取します！

※この日は「全国一斉水質調査」に合わせて行います。

※雨天の場合は6月20日(土)に順延となります。

● 集合時間・場所 ～ 午前9時、いわき市小川公民館

※事前申し込みは不要です。当日直接会場へお越しください。

※現地での採水にも参加を希望される方は午前8時30分まで集合してください。

● 測定地点 ～ 平・小川を中心とする16地点(流域全体27地点)

● 実施すること

■水質調査(COD,アンモニアパックテスト・導電率・透視度・におい など)

■水生生物調査(川に入って川の生き物を採取・観察します)

■昨年に続き川底の砂の放射性物質濃度も測定します。



● 参加費：無料

● 準備するもの

★ 水にぬれても大丈夫な服装・着替えなど ★ 昼食・飲み物等

問い合わせ先・連絡先

● 橋本 孝一 TEL/FAX: 0246-22-2621 E-mail: khashi0823@hotmail.co.jp

● 永井 精 TEL: 0246-88-7338 E-mail: n-makoto@agate.plala.or.jp

● 阿部 孝男 TEL: 0246-23-8372 FAX: 0246-25-3744 E-mail: t.abe@azuma-co.co.jp

○ 主催：夏井川流域の会

○ 共催：「夏井川流域住民による川づくり連絡会(下流域)」
「夏井川をきれいにしてみま専科(川前)」
「夏井川上流域連絡協議会(小野町・田村市)」

○ 後援：いわき市(予定)

お楽しみゲームもあるよ！

申込者には5月15日までに際しい案内をお届けします。



<報告事項1>

いわき地域環境科学会第26回発表会報告

田中博文

平成27年1月18日（日）福島高専にていわき地域環境科学会主催による第26回発表会があり、当会で阿部さんが「こどもたちの笑顔が見える夏井川を目指して」と題し、夏井川流域の会も含めて発表されました。発表会は全体で50名ほどの参加で、当会からは6名参加でした。

当会の発表では、会発足の趣旨、目標7本柱、活動概要として流域一斉水質調査、26時間水質調査、川くだりをグラフ・写真を交えてわかり易く説明していたたぎました。一斉水質と26時間調査は毎年恒例でデータも蓄積されつつあり、傾向が見えてきたと思います。川くだりは一般向け参加者向けの親水目的の行事で、第1回目として新たな取り組みとしての報告でした。

また、その他発表として「ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの課題と展望」（NPO ザ・ピープル）、「これまでの放射性物質検査データから見えてきたこと」（パルシステム）、「いわき自然エネルギー研究会の活動」（いわき自然エネルギー研究会）、「自然エネルギーを用いた環境教育システムの構築」（福島高専学生）、「携帯端末を用いた鳴き砂分布調査の試み」（福島高専学生）の発表があり、どれも興味深い内容でした。



発表会の様子①



発表会の様子②



阿部さんの発表

<報告事項2>

川前地区「夏井川をきれいにしてみま専科」清掃作業に参加して

佐藤雅子

川辺の白いナイロンの花を見ると、日本人はゴミとして捨てたものの行く末を想像することができなくなったのかと憂いてしまいます。

今や夏井川の上下流いたるところにこの光景は見られます。

夏井川中流の川前地区団体「夏井川をきれいにしてみま専科」は毎年3月に川の清掃活動を行っており、10回目の今年、お天気に恵まれた3月29日（日）地元の50人以上の方々とともに流域の会の6人が清掃に参加してきました。

ゴミとして拾い上げたものには、嫌な定番となっているペットボトル、ビールやジュースの空き缶、プラスチック製の容器の弁当箱、ビン類などのほかに電化製品や散水用のホース、工事用の金属など「どうしてこんなものが？」と思うものがありました。清流の橋の下に缶ビールの空き缶がいわき市のごみ袋2つ分も1か所にあった時にはがっかりしてしまいました。ガードレールの大物を川から道路上までロープで引っ張り上げる作業も行いました。

道路から見えないうちに捨ててある種々雑多なものをヤブから引っ張り出すのも容易ではないのに、缶や弁当箱をナイロン袋にまとめたものが土の中に埋めてあって、悪意すら感じます。ゴミは限りなくあり、とても半日の作業などで終われるものではありません。

また拾い上げた物を集積、分別するのも年配者が多い地区では大変な作業です。

「川をきれいにしてみませんか？」と優しく問い

かけている活動グループのみなさんは、ゴミを捨てた人に対し、本当は腹の中が煮えたぎっているはずです。

参加者の一人が、拾ったゴミの種類を見て、「捨てた人のレベルがわかる」と鋭い観察をしていました。ゴミ拾い作業をしなくてもすむ日はくるのでしょうか？

原発事故後、原発に通う車から捨てられるゴミが問題になっていて、通常のゴミ処理に加え、この状態が恒常化してしまうのではないかと、地元は悲鳴を上げています。

東電に出入りする業者にゴミを捨てないように注意を促してもらうとか、企業に対してゴミ捨て禁止を従業員に徹底してもらう申し入れをするのは、行政の役割ではないでしょうか？長期化する原発作業のこれから先を考えても、ゴミは増える一方に思えます。

開会で挨拶された市会議員のお褒めの言葉が虚ろに響きました。

夏井川の空気や水や人々の心をこれ以上汚してはならない。一人ひとりが捨てなければ拾うこともないのに、と当たり前のことを改めて思った次第です。

川前地区のみなさんお手製のお昼、カレー、あんころもち、ワラビ漬物、アサリ汁が清掃作業の後の疲れを取ってくれました。



<報告事項3>

福島県水環境団体喜多方視察旅行 ～福寿草まつり～

阿部 孝男

4月4日～5日、福島県水環境活動団体交流会による喜多方視察旅行に本会からは佐藤雅子さん、木田都城子さん、田中さん、阿部の4名が参加しました。

いわきからレンタカーで小野町～郡山～喜多方～山都町沼ノ平へ向かい、まずは山都町のそばとお餅をいただき福寿草の群生する遊歩道を散策しましたが、残雪とのコントラストも相まって素晴らしい福寿草の群生を鑑賞しました。ここの福寿草は人工的に植えたものではなく、全て自然に自生しているものだそうです。

途中休憩していると思わぬ出会いが・・・なんとニホンカモシカが山から下りてきてしばらくの間私たちの方を見ながら木の芽を食べていました。貴重な体験でした。



次に向かったのは湯川町にある本尊が国宝の木造薬師如来像勝常寺。

拝観時間の約1時間前に到着したのですが、なんと休み！えー土曜日ですよ！

何らかの事情があるのでしょうか、喜多方を含め観光コースの一つでもある勝常寺が土曜日に休んでいていいのかと疑問

を抱きつつ仕方なく宿へ向かう途中に「川番所」なるものを発見。

立ち寄って覗いてみると、そこは「阿賀川工事事務所身神川排水機場防災対策室」という施設で、1階が塩川町の物産販売所で2階が展示ホールになっていて、阿賀川の歴史や環境に関する様々な資料が展示されていました。

しばし見学し、もっと幹線道路沿いにあれば見学者や利用者もいるだろうととか（排水機場に併設されているので仕方ありませんが）、夏井川にもこんな施設があればなどと考えながら見学を終え宿に到着。



宿泊は以前水環境活動団体交流会でもお世話になった「あずま旅館」ですが、夕食は「志ぐれ亭」まで行き、ふるさと懐石料理を堪能しました。

料理ばかりではなく、ここの女将さんから「会津まほろば」や「三々九度」の説明をして頂き、これもまた貴重な体験、貴重なお話聞くことができました。

貴重な・・・と言えば、この日は皆既月食。赤く浮かぶ月を見ながら志ぐれ亭を後にしました。

宿の帰ってからは、参加したメンバーがメンバーだけに（一部の人だけですが）二次会で夜更かしし1日目終了。

2日目は朝食からスタート。喜多方ならではの？いわゆる「朝ラー」ってということで「喜一さん」へラーメンを食べに。さすがに人気店朝から行列が・・・休日はスープと麺がなくなり次第ということで、11時ぐらいには閉店してしまうそうです。

いったん宿へ戻ってあずま旅館の女将さんに紙芝居を講演していただきました。

「漢字のまち喜多方」ということで“倉”と“蔵”の違いの漢字のつくりの成り立ちから紙芝居で演じていただき、みんな“へえー！”でした。



宿を後にし、JA 販売所で、アスパラなどを購入し、樂篆工房、吉の川酒造、喜多方ラーメン神社、豆菓子問屋おくやなどを廻りました。

もう、みなさんお土産などをたくさん購入し、車の中は荷物でパンパンです。

視察地の最後は県の喜多方合同庁舎で珍しい「雪室（ゆきむろ）」を見学し、建設事務所の大竹さん（事業部長）から雪室の循環システムや機能などについて説明して頂きました。

冬期に除雪した雪を約400 トン貯蔵し、夏場に冷房に利用するシステムで、初期投資のコストから考えると決して経済的という訳ではないそうですが、夏場の省エネや CO2 削減には大きく貢献しているそうです。



雪室の様子 除雪時の路上の土や砂などが表面に出てきて雪が黒くなっています

帰途の昼食は喜多方市熊倉にある「ビストロ35」でイタリア料理を美味しく頂き、車の中の荷物ばかりでなくみなさんのおなかもパンパンになり無事帰ってきました。

今回の旅行で視察地や食事の予約、会計などで郡山の長谷川潔さんには大変お世話になりました。普段の旅行では行けない場所や貴重な体験やお話などをたくさん聞くことができました。本当にありがとうございました。

<お知らせ>

福島県下水道公社から助成金をいただけることになりました

本年度も昨年度に引き続き助成を受けることができました。これで、5年連続で支援をいただけることになりました。当会としては、財政的な基盤がまだまだ脆弱な状況にあり、水質調査、夏井川沿いサイクリングやウォーキング、上下流交流等の事業の実践活動に有効活用させて頂く予定です。

～～～ 会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。 ～～～

会報 第38号

2015.4.13

発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会

事務局：〒970-8017 いわき市石森2丁目9-17 永井 精
Tel.0246-88-7338